

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用している。

(2) リース取引の処理方法

ファイナンスリース取引

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式を採用している。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
建 物	71,592,687	0	4,145,670	67,447,017
会館改修引当資産	30,804,838	3,454	0	30,808,292
施設整備引当資産	8,466,553	169	0	8,466,722
創立60周年記念事業引当金	3,800,000	0	0	3,800,000
災害対策積立資産	6,003,085	3,400,114	2,369,180	7,034,019
不動産の日記念事業引当預金	1,600,000	0	0	1,600,000
事務機器等更新引当資産	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	125,267,163	3,403,737	6,514,850	122,156,050

#### 備考

会館改修引当資産：会館の改修費用に備えるために計上している。

施設整備引当資産：会館研修室・会議室にある机、椅子及びパソコンサーバー等の経年劣化による買換に備えるために計上

創立60周年記念事業引当金：創立60周年記念講演及び祝賀会を開催するための費用に備えるために計上している。

不動産の日記念事業引当預金：創立60周年記念の年度において不動産の日記念事業を開催するための費用に備えるために計上している。

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
建物	67,447,017	(4,920,257)	(62,526,760)	
会館改修引当資産	30,808,292		(30,808,292)	
施設整備引当資産	8,466,722		(8,466,722)	
創立60周年記念事業引当金	3,800,000		(3,800,000)	
災害対策積立資産	7,034,019		(7,034,019)	
不動産の日記念事業引当預金	1,600,000		(1,600,000)	
事務機器等更新引当資産	3,000,000		(3,000,000)	
合 計	122,156,050	(4,920,257)	(117,235,793)	

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	176,053,016	108,605,999	67,447,017
構 築 物	5,566,055	3,540,089	2,025,966
什器備品	16,205,677	13,179,943	3,025,734
ソフトウェア	5,186,395	3,815,061	1,371,334
合 計	203,011,143	129,141,092	73,870,051

### 5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表の記載区分
富山県不動産流通センター建設費補助金	富山県 富山市	5,325,257	0	405,000	4,920,257	指定正味財産
合 計		5,325,257	0	405,000	4,920,257	

## 6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 減価償却計上による振替額	405,000
合 計	405,000

## 付属明細書

### 1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

該当なし